

授業科目名	【G】 教職インターンシップⅡ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2		
	【H】 教職インターンシップⅡ			【H】2		【H】2		
科目区分	大学が独自に設定する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための選択必修科目 【H】						
施行規則に定める科目区分又は事項等	大学が独自に設定する科目							
サブタイトル	教育の最前線が、学校現場である			担当者	後藤 雅彦			
授業概要	【概要】	<p>【実務(中学校教諭)経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 学校現場に対する理解や児童生徒との関わりを深めるためには、大学の教職課程における学びと並行して、学校現場における実習が重要である。本学では千葉県・千葉市教育委員会や木更津市教育委員会などとのつながりの中で実施される教職インターンシップ活動に取り組むことで、教員としての基礎的な資質能力の涵養をめざしている。 なお、「教職インターンシップⅠ」もしくは「同Ⅱ」のいずれかの単位取得が教育実習派遣の要件となっていることに留意して取り組むことを求める。</p>						
	【到達目標】	<p>○学校におけるインターンシップ活動の目的を理解して実践することができる。</p> <p>○学校におけるインターンシップ活動を振り返り、自身の課題を抽出することができる。</p>						
履修条件	「教育原理」及び「教職論」を履修済み、もしくは本年度に履修予定の者。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	事前・事後指導(3・4年)、教育実習Ⅰ・Ⅱ(4年)							
教科書	清和大学教職課程委員会『清和大学教職インターンシップ日誌』(独自作成)							
参考書	宮崎猛・小泉博明『教育実習完璧ガイド』小学館							
評価方法	教職インターンシップ日誌(50%)、レポート(25%)、発表(25%)により総合的に判断する。 ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。							
フィードバック方法(※)	授業時及び教職インターンシップ日誌へのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。 授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。 なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授 業 科目名	【G】	教職インターンシップⅡ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	教職インターンシップⅡ			【H】2		【H】2
授業内容	<p><Ⅰ. 事前指導(第1～3回)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職インターンシップの目的と内容 ・教職インターンシップの活動と注意事項 ・個人面談による目標設定 <p><Ⅱ. 教職インターンシップ(第4～11回)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習校における活動(前期) ・中間指導(個人面談による前期の成果・課題の抽出及び後期の目標設定) ・実習校における活動(後期) <p><Ⅲ. 事後指導(第12～15回)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談による教職インターンシップの振り返り ・グループ討論による教職インターンシップの振り返りと課題の共有 ・教職インターンシップ報告会における発表 ・総括 						
予習内容	<p>【事前指導】配付プリントの読解 【教育実習】教職インターンシップ活動に関わる準備 【事後指導】討論や発表の準備 ※授業ごとの予習時間は90分程度を目安とする。</p>						
復習内容	<p>【事前指導】学習内容の復習 【教育実習】教職インターンシップ活動の振り返り 【事後指導】討論や発表の振り返り ※授業ごとの復習時間は90分程度を目安とする。</p>						
その他	<p>教職インターンシップは学校現場での実習を中心としており、教職に関する基本的な理解と、教員としてふさわしい基本的な態度を身につけている者のみ受講すること。また、事前指導及び事後指導についても、教育実習と同様に遅刻・欠席は認めない。 ※以上が守れない場合、受講の停止やインターンシップの中止を勧告する。</p>						